

水道事業におけるIoT活用推進モデル事業（豊橋市上下水道局）

- 令和元年度より、工場跡地の宅地開発地において、全戸に水道スマートメーターを導入し、令和5年3月末時点で155個設置。
- 当該事業を通じて、検針業務が効率化されたほか、利用者に対しWebによる使用水量の見える化サービスを提供。

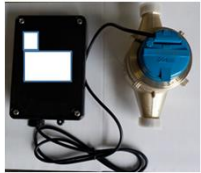
事業概要・事業の進捗状況

- ・ 事業期間：令和元年度～令和7年度
- ・ 実施個所：豊橋市曙町字松並地内
- ・ 事業実施状況：住宅の新築に合わせてスマートメーターを設置。計画410個に対して令和5年3月末時点で155個設置済み。（効果検証中）

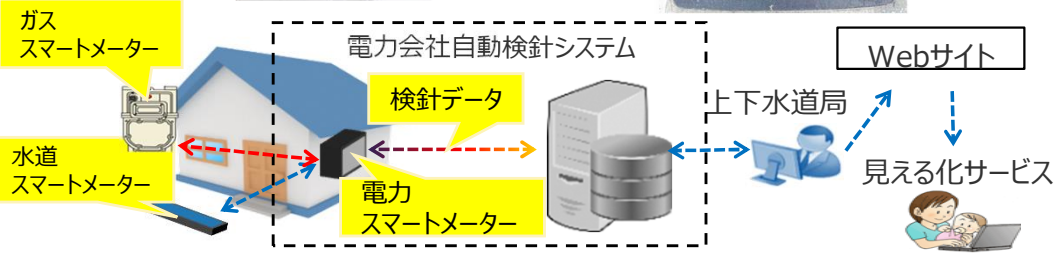
導入状況・設置状況

- ・ 電力、ガスの事業者と連携し、水道・電気・ガスの共同検針を導入することにより、検針業務を効率化。
- ・ Webによる使用水量の見える化サービスを提供。

スマートメーター



設置状況

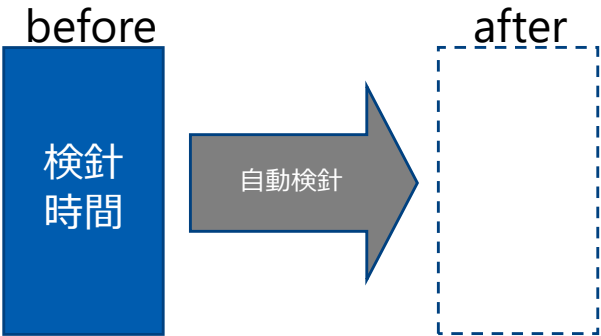


付加効果

- ・ 広大なエリアを利用し、設置条件による通信性能の確認。
- ・ 時間ごとの使用水量データにより、漏水の早期発見や不明水の発見についての検証を行っているが、新規開発エリアのため、漏水や不明水の発生がなく、今後も注視していく必要がある。
- ・ 見える化サービスのアンケートによるニーズの掘り起こし。

業務の効率化

- ・ 自動検針により検針員による現地検針が不要となった。



他事業者へ共有すべき事項

- ・ 目的に応じた検針データの収集を行うことができる通信方式（検針時間・双方向通信の可否）の選択が必要となる。
- ・ 豊橋市HP：取組状況 <https://www.city.Toyohashi.lg.jp/41656.htm>

問合せ先

豊橋市上下水道局 営業課 給水装置担当
TEL:0532-51-2722/ Email: water-eigyo@city.toyohashi.lg.jp